

超速硬断面修復材 リフレモルセットM

東・中・西日本高速道路株式会社「構造物施工管理要領」、左官工法による断面修復の性能照査項目
東京港埠頭株式会社「棧橋劣化調査・補修マニュアル」、断面修復材の品質規格値 合格

リフレモルセットMとは

超速硬断面修復材「リフレモルセットM」は、超速硬セメントをベースにした特殊無機系材料を主成分とし、高機能性特殊粉末樹脂及び特殊短繊維をプレミックスしたポリマーセメントモルタルです。また、凝結遅延剤を使用することにより凝結時間を調整することが可能です。

リフレモルセットMの特長

1. 短時間で実用強度を発現

材齢1時間で5N/mm²以上の圧縮強度が発現し、緊急の断面修復工事に適しています。

2. 優れた付着性

高機能性特殊粉末樹脂を使用しており、既設コンクリートとの付着に優れ、一体化が図れます。

3. 優れた耐久性・水中安定性

無機系の特殊材料を主成分としているため、物性は長期にわたって安定しており、耐久性に優れています。また、硬化後すぐに水中や海水中に浸してもその耐久性に変化はありません。

4. 施工が容易

ハンドミキサー等で練混ぜができますので、特殊な機械を必要としません。また、左官によって仕上げられるため、特殊な機材を必要としません。
※アルミ製の羽根、容器は決して使用しないでください。

5. 凝結時間の調整可能

凝結遅延剤（ジェットセッター）を使用することで、凝結時間を調整できます。



荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

リフレモルセットMの配合例

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		リフレモルセットM	水	
1m ³ 配合	16.0 (15.0~17.0)	1820(91袋)	291.2 (273.0~309.4)	1000
1袋配合		20(1袋)	3.2 (3.0~3.4)	約10.9

注) 標準水量はリフレモルセットM 1袋に対し、3.2kgですが気温等により水量は多少変動します。使用前には必要に応じて試験練りを行い、水量・流動性・強度等を確認してください。

物性値の一例

項目	材令	試験値	試験方法
単位容積質量 (kg/L)	—	2.1	JIS A 1171
フロー値 (-)	—	200	JIS A 1171に準拠 (20°C, 60%RH)
圧縮強度 (N/mm ²)	1時間 2時間 5時間 1日 7日 28日	6.7 12.6 17.9 20.3 41.2 49.7	JIS A 1171 ポリマーセメントモルタルの試験方法に準拠 (20°C, 60%RH)
曲げ強度 (N/mm ²)	1日 7日 28日	6.2 7.3 8.5	JIS A 1171に準拠 (20°C, 60%RH)
付着強度 (N/mm ²)	1日 7日 28日	1.8 2.2 2.7	建研式簡易引張試験装置 (プライマー使用せず)
硬化収縮率 (%)	28日	0.04	JIS A 1129 モルタル及びコンクリートの長さ試験方法 (コンタクトゲージ法) に準拠
熱膨張係数 (1/°C)	28日	1.3×10 ⁻⁵	JIS A 1129 モルタル及びコンクリートの長さ試験方法 (コンタクトゲージ法) に準拠
表面水分率	3時間	7.8	高周波容量式水分計 (歩道版10mm20°C80%RH湿空養生)

●上記のデータは当社で評価した代表値であり、品質保証値ではありません。

リフレモルセットMの施工要領

下地処理

- ・施工面の浮き、脆弱箇所、油性分等を除去してください。
- ・下地コンクリートを水洗いまたはブロワー等で清掃してください。
- ・プライマーはリフレトリートをご使用ください。

計量・混練

- ・混練バケツ等に所定量の水を投入してください。
- ・ハンドミキサー等で攪拌しながら徐々に粉体を投入し、全て投入してから均一になるまで2~3分程度混練してください。
- ・練り上がり温度が高く、可使時間が短い場合は、右表を参考に凝結遅延剤を混練水に添加してください。

施工方法

- ・コテ等で下地に3~5mm厚みでしごき塗りを行ってください。さらに、追っかけで塗り上げてください。
- ・1回の塗り厚は壁面で約20mm、天井面で約10mmを目安としてください。

養生

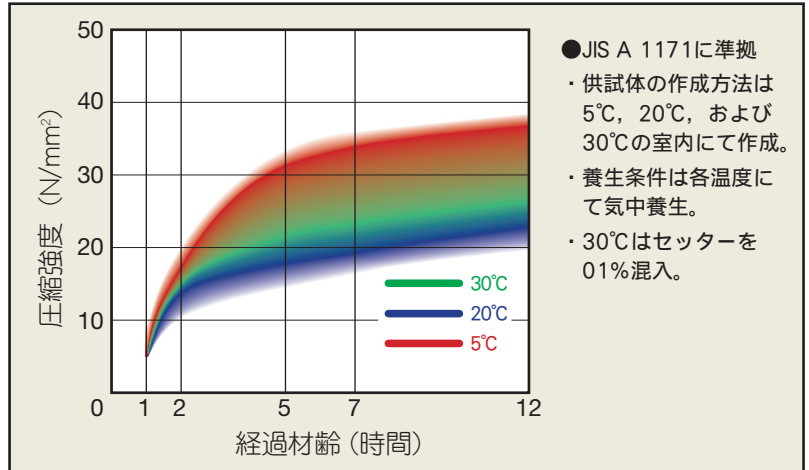
- ・施工後は直射日光・風等があたらないよう、シートがけ養生等を行ってください。

※物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。

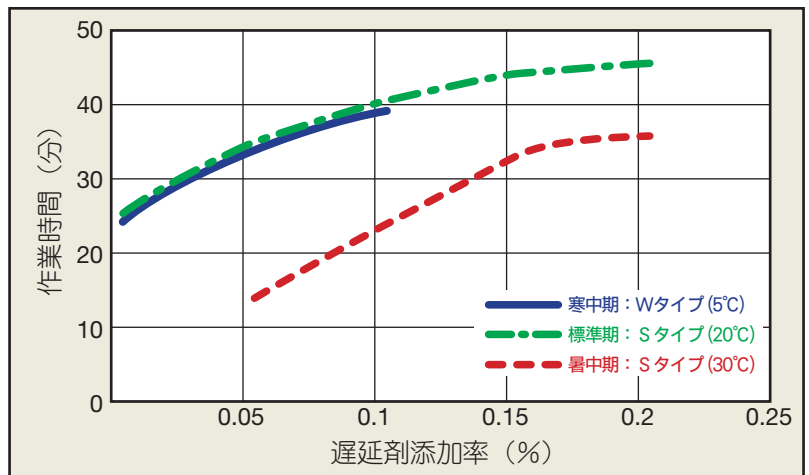
取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。

圧縮強度の測定例

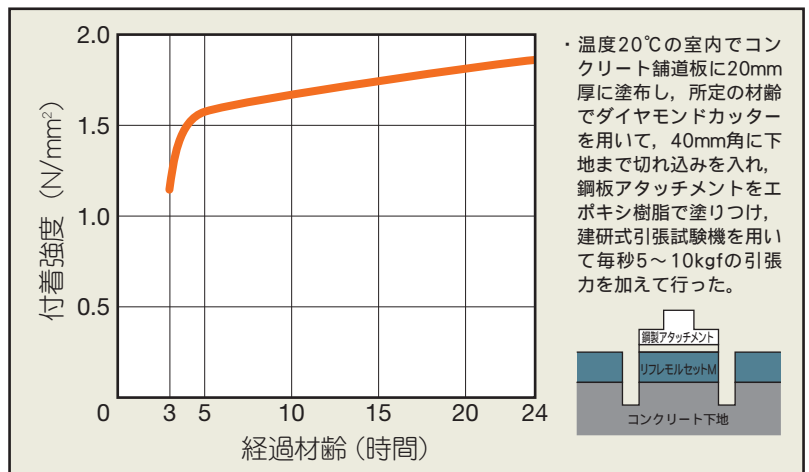


凝結遅延剤添加量の目安



注) リフレモルセットMには、Sタイプ(夏:20°C以上)とWタイプ(冬:5~20°C)の2種類があります。ご使用になる気温に合わせて使い分けを行い、タイプに合わせて遅延剤の添加量を決定してください。

付着強度の測定例



使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。

本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2 (汐留住友ビル20F)
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
 名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は